

私たちが安心して暮らせるのは

一日連続で警報発令による休校となってしまいました。

生徒の皆さんは危険から身を遠ざけて、家で待機していることでしょうか。テレビや新聞の報道では、九州地方を中心とする大雨の被害がクローズアップされ、多くの人々が避難する様子が伝えられています。

瑞浪市においても、今朝からサイレンが鳴り響き、「広報みずなみ」で市民に早めの避難を呼びかけています。

北中では、避難場所が開設されました。危険を回避するため避難してきた市民を受け入れる場所として、開校後初めて使われることになりました。

生徒の皆さん、知っていましたか、避難所を開設するのは私たち北中の職員ではないということ。開設するのは、瑞浪市役所で働いている方々です。「公務員」と呼ばれる方たちですね。

公務員とは、その名の通り「公（おおやけ）のために働く人たち」のことです。実は、私たち市町村立学校の教師も公務員なのです。公務員ということでは同じなのですが、違いがあります。

私たち教職員は岐阜県から給料をもらっています。岐阜県で働くために、瑞浪市の学校に赴任（ふにん）しているのです。それに対して、市役所で働く方々（市の職員）は、瑞浪市から給料をもらい、瑞浪市のために働いています。したがって、同じ公務員でも、「公」の中身が違います。市の職員は瑞浪市のために、また、瑞浪市に住む人たちのために一生懸命に働いています。そういう人たちの働きがあるからこそ、私たち市民の生活がスムーズに進み、安心して暮らすことができるのです。

今回のように、市民に危険が迫っているということになれば、真っ先に市の職員が動きます。警戒や避難を積極的に呼びかけ、避難先では安心してもらえるようにいろいろな準備や気配りをします。

私も知らなかったのですが、警報ではなく注意報が出た段階で何かあったらいけないということで、夜通し市役所に待機している市の職員がいます。世の中は（特別）警報発令で騒ぎ始まりますが、市の職員はその前の段階で準備をしてくれているのです。そのことを知っておいてくださいね。

働くということは、必ずだれかのためになっているものですが、働くことが、ダイレクトに人のためになっているのが公務員です。皆さんの取り組んでいる一人一役も、公務員の働きと同じかもね。

（七月八日 記）